

我が町「奈良桜井」山の辺の道を歩いて！

29期 竹本治男（大鶴）

新型コロナウイルス感染拡大で心身とも苦渋の毎日です。

私は幸い田舎に住んでいることもあり度々、日本最古の道といわれている三輪山のふもとの「山の辺の道」を歩いています。

今日は「北辰会のHPに投稿しよう！」と思い、北風が吹く寒い一日でしたが好天に恵まれカメラを持ってウォーキングをしました。

テレビや新聞のニュース、コロナ・コロナで気が落ち込みますが自然って凄いなあ！！れんげや菜の花・桃・やまぶき・桜などの花の素晴らしさに改めて感動…勇気をもらった今日一日でした。

2020（令和2年）4月5日 記

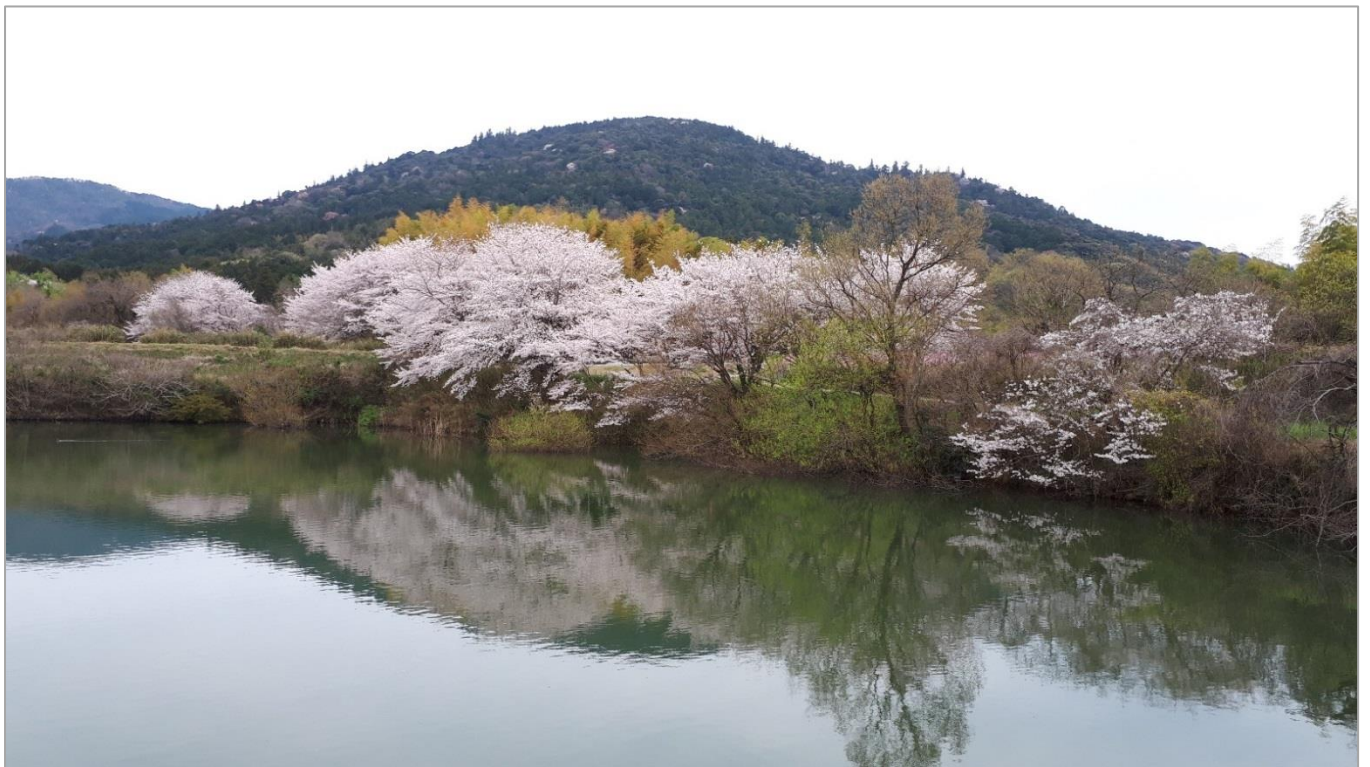


写真撮影

山の辺の道（南コース）



穴師相撲神社の「勝利の聖」石碑前で
(2013年7月7日 大相撲八角理事長を招いて除幕式があり、
勝利の聖と野見宿禰を揮毫させていただいた)



三輪山を背景に井寺池に写る桜満開の景色
(昔、榊嶺山先生に直接聞くと「大好きな場所」と言われた)



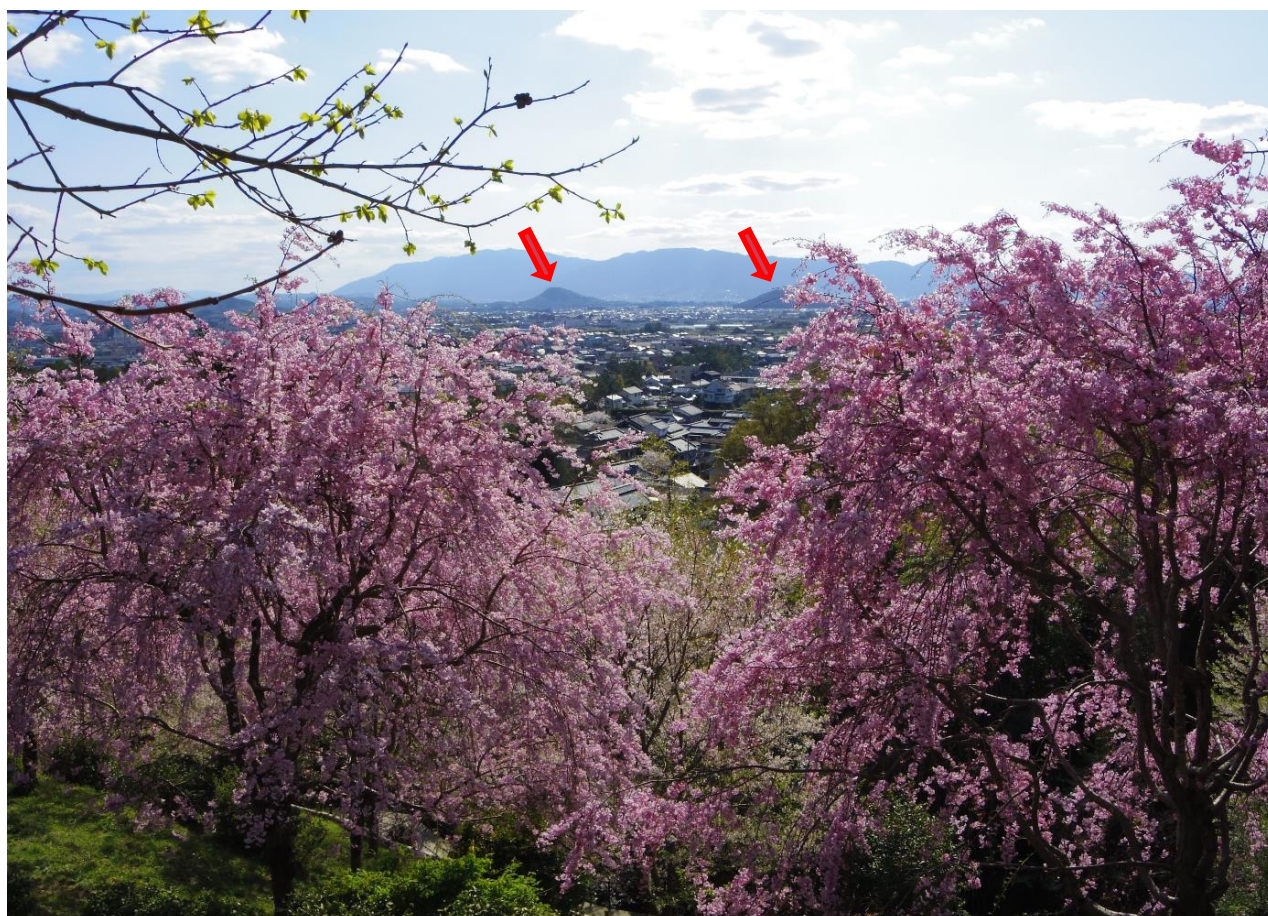
檜原神社の鳥居から見える二上山（遠方の2つの山）
（春と秋のお彼岸時期にしずむ夕日が有名）



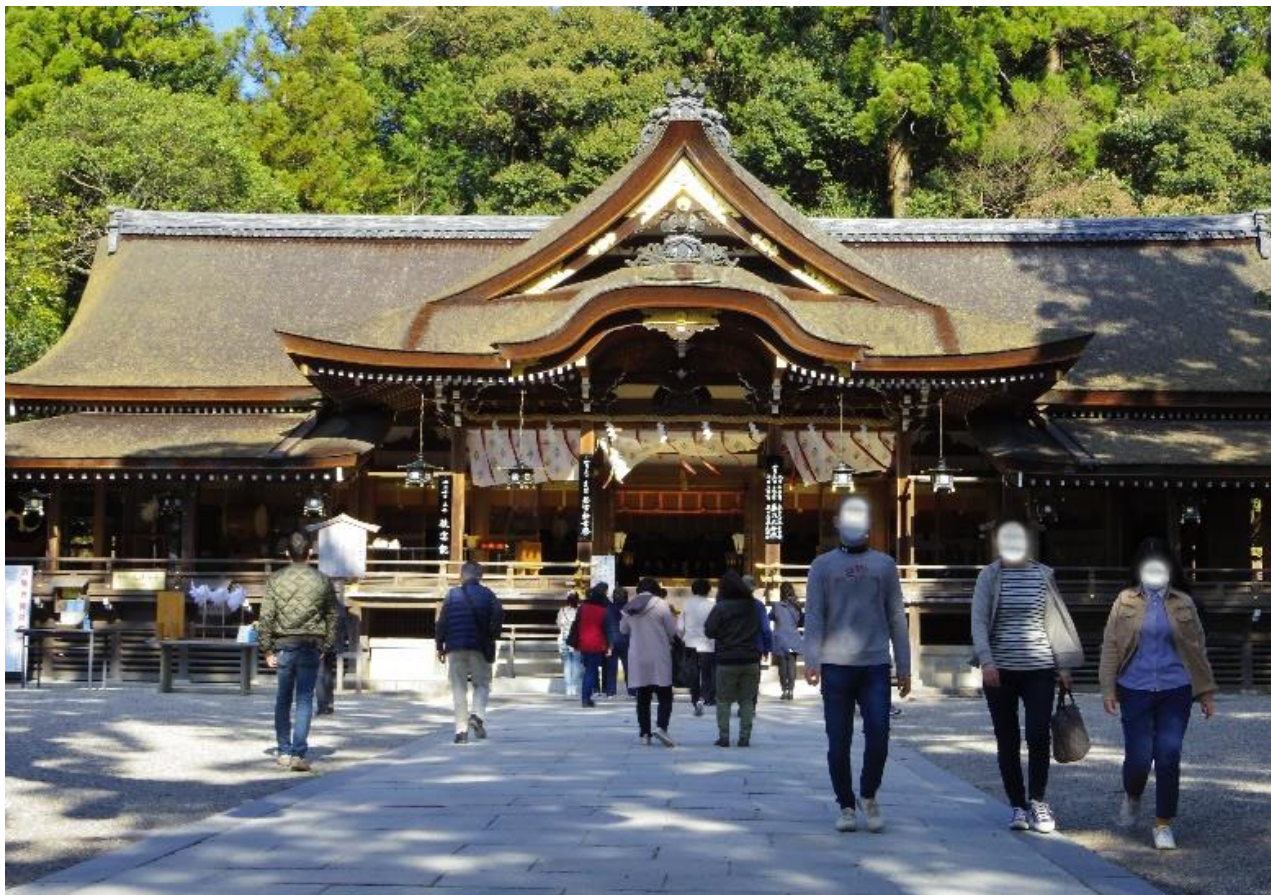
川端康成の歌碑（私は山の辺の道を歩くとき暗唱しています）



山の辺の道は日本最古の道と言われており味わいのある場所
文芸評論家の小林秀男の石碑も素晴らしい



大和平野を一望できる展望台（桜の隙間から見える小さな黒い山、右が耳成山・左が畝傍山・その左が香具山[写ってはいない]が大和三山と言われている）



大神神社は大和の国の一之宮と言われ最古の有名な神社



箸墓古墳（前方後円墳）卑弥呼の墓といわれている有名な古墳（左奥は三輪山）